

別記様式第1号

「現場の創意工夫プロジェクト」計画書

《プロジェクト名 地域資源活用による周年農業の拡大》

市町村	金山町	対象地域	金山町内	分野	稲作
実施主体名	金山農業協同組合 飼料用米研究会育苗部会	代表者氏名	中村 喜代治	住所又は主たる事務所の 所在地・連絡先	金山町大字金山456の30 電話0233-52-2892（金山農協営農部内）
実施主体構成	金山農業協同組合飼料用米研究会育苗部会 2名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	8,560千円（8,560千円）				
	独自の目標項目	飼料用米の生産拡大と育苗受託拡大及び周年農業への挑戦				
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）
産出額	飼料用米：0円	1,000千円	2,500千円	3,500千円	4,000千円	5,000千円
	育苗受託：0円	0千円	140千円	280千円	420千円	560千円
利用等面積	山 菜：0円	0千円	1,000千円	2,000千円	3,000千円	3,000千円
	飼料用米：0ha	1.5ha	2.5ha	3.5ha	4.0ha	5.0ha
	育苗受託：0ha	0ha	1.0ha	2.0ha	3.0ha	4.0ha
	山 菜：0ha	0ha	10a	20a	20a	20a
プロジェクト 概要	◎実施方針	金山町では本年度から飼料用米の生産がスタートしており、この飼料用米の生産拡大を行うためには育苗施設の増強が必要となっている。また、担い手への作業委託が年々増えており、主食用米の育苗委託の要望が高まっている。このため、新たに共同で育苗作業受託を行いながら水稲部門の規模拡大を図るとともに、農業における収益性を高めるため、育苗ハウスの有効利用法として山菜の促成栽培を行い周年農業を模索する				
	○産出額の増大	・新規需要米としての飼料用米の栽培拡大（0千円→5,000千円） ・育苗の受託（0千円→560千円） ・新規山菜の導入（0千円→3,000千円）				
	○雇用の創出	・育苗受託拡大による春作業の雇用創出（平成25年雇用人数 0.24人/日） ・山菜の促成栽培による冬場の地域内雇用を創出（平成25年雇用人数 1.2人/日）				
	○創意工夫	低コスト技術の導入（粗植栽培や専用品種、フレコン出荷、豚糞堆肥利用による生産コスト低減） 育苗ハウスの有効利用（周年農業の検討）				
	○実現性	大規模養豚農場・JA・町・町内生産者との連携・協議を重ねた結果、飼料用米の作付けはH21から開始。水田フル活用事業の継続により意欲的な取組可能。				
	○地域への波及効果	町内担い手農家における周年農業への意識醸成。				
○その他	耕畜連携による水田機能の維持、生産調整の円滑な推進、耕作放棄地の減少。					

事業計画		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成 年度）
	事業内容	育苗ハウスの増設	